

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市天文台
2 指定管理者	株式会社仙台天文サービス
3 指定期間	平成20年7月1日～令和20年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 164,238人(前年度比 136.2%) 令和4年度 120,596人(前年度比 114.3%) 令和3年度 105,526人(前年度比 166.8%) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年4月1日～5月12日、令和3年8月30日～9月12日は臨時休館を実施。令和3年8月20日～8月29日、令和3年9月13日～9月30日までは17時以降の事業を休止。
	《事業》 天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体现象の解説、天文科学に関する観測研究並びに資料の収集・保管及び展示、天文科学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行、学校理科教育における天体の観察実習の指導助言等
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 735,626円(733,249千円) ※PFI事業のサービス購入費施設整備費相当分を含む ・ その他市が負担した費用 1,202千円(1,976千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 53,852千円(39,624千円) ・ その他収入 42千円(24千円)
6 利用者の声	《実施状況》 施設内のアンケート用紙の設置及びウェブサイトにて利用者の声(意見・要望)を把握している。また、寄せられた意見等に関する統計的な分析を行い、施設の維持管理・運営業務の改善に活用している。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や役割を十分理解した上で、市民の宇宙に関する興味・関心に応え、宇宙・天体に関する知識を深め、様々な体験を提供できるよう、天文台・科学博物館としての更なる質の向上に取り組んでいる。	33/33
II 施設の運営管理体制	各業務に必要とされる資格や専門的な知識を有する職員を適切に配置し、施設の設置目的を踏まえて運営を行っている。また、事故防止や災害発生等の非常時の対応等について、台内ミーティング等を適宜開催し、その場において関係者間で必要な情報共有が図られ、改善策の検討・実施がなされている。また、スタッフサポーター(市民ボランティア)に対しても、スキルアップ等の支援を実施している。	29/29
III 施設・設備の維持管理	利用者が快適かつ安心して施設を利用できるよう、建築・設備の保守、清掃、警備等に加え、施設の特徴を十分に考慮し、施設各所の維持管理に努めている。令和4年3月の福島県沖地震の被害設備で未復旧となっていた市民観察望遠鏡に関しては復旧作業を完了し、市民への共用を再開した。 また、開台15年目の大規模修繕工事の施工も含め、利用者への案内・施設利用時の安全対策が適切に行われている。併せて、ごみの分別や省エネルギー等の環境負荷の低減に資する取り組みを行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	より多くの方々に宇宙を身近に感じ、親しみや興味を持ってもらうため、天文分野にとどまらず多様な分野の関係者とのコラボレーション企画など、利用者増や地域における賑わい創出のための様々な事業を積極的に展開している。併せて、独自事業への「仙台MaaS」の適用、「ミュージアムショップ」や「そらかフェ」の設置などにより、施設利用者の利便性の向上も図っている。また、各イベント情報や天体の観測成果等の従来の広報に加え、プラネタリウムリニューアルオープンに関する特別企画なども含め、広報誌や天文台ウェブサイトをはじめ、YouTube、Instagram等の各ソーシャルメディアも積極的に活用した幅広い周知活動に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	経営の健全性を確保するため、施設運営に関連する各保険への加入など、リスク管理を適切に行うとともに、PFI事業の要求水準を十分理解し、これを達成するために努力している。15年目の大規模修繕に伴うプラネタリウムのリニューアルオープンに際しては特別企画を実施し、施設や実施事業の認知度の向上と利用促進を図っている。また、3年間の中期計画(令和5～7年度)を策定、事業ごとに実施目的を明確化し、事業成果を高めるため更に努力している。	10/10

三 評価総括

《指定管理者（株式会社仙台天文サービス）による自己評価》
<p>本年度は、新型コロナウイルス対応に関して、『COVID19に係る仙台市ガイドライン』を基に『仙台市天文台再開館運用方針』を策定し、運用を行った。15年目大規模修繕の一環でプラネタリアム更新を実施したが、来館者の皆様の御蔭で2023年度の実入館者数は、164,238人(前年度は120,596人)、観覧料収入53,894千円(前年度39,648千円)となった。</p> <p>事業計画は、『宇宙を身近に』を施設の使命として、市民に親しまれる施設、憩いの施設として、仙台市の要求水準を着実に実行するとともに、社会教育・生涯学習施設としての価値を高める施設の運営に取り組んだ。また、中期計画においては、2023年度から新たに社会的インパクト・マネジメントの考え方を導入し、『宇宙が身近な社会～市民の天文学リテラシーの向上～』を最終アウトカムに設定した上で、事業の実行や分析、改善に取り組んでいる。</p> <p>また、施設の理念である、『市民が宇宙や天体を通して自然や科学について学べるようにする』に関しては、施設やスタッフの充実を図るとともに、地元教育研究機関との連携強化により活動の場を広げてきており、天文分野の教育をより専門的に行う、社会教育施設として天文学の普及啓発に寄与してきた。</p> <p>更に、各種イベントや毎週土曜日に開催する土佐名誉台長によるトワイライトサロン等を通して『にぎわいの創出』を意識した活動を行ってきた。</p> <p>ユーザーから頂いた貴重なご意見、ご要望を改善に繋げる『来館者アンケート』では、お客さまからの『声』を基に、随時適切に対応し、併せてNPSシステムの導入により、お客さまのニーズと達成度を客観的に評価しながら台内会議等で改善事項を共有、確認し、掲示板やWebサイトで公表している。</p> <p>2024年度も市民の方々や来館者のニーズに応える施設となるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度は、開台15年目の大規模修繕工事が完了し、その一環であるプラネタリアムのリニューアルオープンが大きなトピックとなった。新型コロナウイルス感染症による社会的な制限が少なくなり、入館者も徐々に増加傾向となるなど、社会情勢の動向を確認し、施設への影響を注視しながら、施設運営を展開した。上記の影響として、施設入館者(利用者)数は、前年度比較で約36%の増加(164,238人)となり、新型コロナウイルス感染症の影響前(R1年度)の約90%の水準まで回復し、客足は戻りつつある。</p> <p>施設運営に際しては、市民が安全で快適に施設を利用できるよう、各設備の維持管理業務(関連工事、設備修繕等)に際して、経費節減や作業効率化等の多様な観点から、最も有効と考えられる方策を十分に検証したうえで実施している。</p> <p>プラネタリアムリニューアルをはじめとした令和5年度の各事業の実施に際しては、施設広報誌や新聞、マスメディア等の既存の手段に加え、ウェブサイトやSNSなども含めた多様な手段を活用した広報活動により、関連情報を利用者や市民に幅広く周知し、来館や事業への参加を促している。併せて、利用者の満足度や利便性の向上のため、インターネットにも対応している利用者アンケートにより利用者ニーズの把握に常に努めながら、既存設備を活用した新しい取り組み、多様な分野の関係機関との連携企画やミュージアムショップ・カフェ事業の提供に加え、従来の事業も利用者ニーズに合わせて実施手法の再構築を行う等、常にサービス水準の向上を意識した取り組みを行っている。これらの施設運営に関する取り組みは、運営事業者の対応として十分に評価できる内容である。</p> <p>今後も、利用者からの意見や要望、運営上の問題点や事故対応に関して職員会議で共有し、組織的に検討・策定した改善策を実施するという運営サイクルを基本とした体制や、地元大学をはじめとした地域の関係団体等の様々な関係者との連携企画の実施等の取り組みにより、より多くの市民が天文台や天文・宇宙に興味を持ち、快適に利用できる施設環境を構築し、施設の賑わいの創出を図り、天文台事業が更なる向上を遂げることを期待する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>令和4年3月の地震による被害設備の一部(市民観察望遠鏡)については、関連部品の調達や性能の復旧確認に時間を要したため前年度から繰越となったが、復旧を完了し、市民への供用を再開している。併せて、プラネタリアムのリニューアルオープンに際しては、本市開催の「全国都市緑化フェア仙台」の開催期間に合わせて特別投映企画を実施するなど、時宜を踏まえた対応を行い、利用者の増加や施設認知度の向上に努めている。</p> <p>施設運営全般について、指定管理者としてのこれまでの経験や実績を踏まえ、各事業の安全な遂行かつ効果の増大に常に配慮し、その達成のため職員間の情報共有・連携を緊密に行っており、その結果として、大きな事故もなく円滑な施設運営が展開できている。</p>

◎ 評価担当課(施設所管課):教育局生涯学習部生涯学習課